

好きこそ物の上手なれ

自分のやりたいこと、好きなことをとことんやる。
何をするにしても楽しみながら。

プロフィール

1996年9月25日生まれ 守口市在住
市立橋波小学校、市立第四中学校、
大阪商業大学堺高等学校、大阪商業大学 卒業
日本拳法6歳～現在(段位四段)
高校全国三冠、日本拳法王者
キックボクシング13歳～15歳
ボクシング(歴1年半)
グリーンツダボクシングジム所属
8戦8勝(4KO)・現日本フェザー級10位
2019年4月21日プロデビュー戦1回TKO勝ち
2019年度フェザー級新人王
(亀田京之介氏に判定勝ち)で敢闘賞※受賞
※体育や武道などの競技において敢闘精神に富み、全力を
尽くした選手などに贈られる。

前田 稔輝 (25)
Maeda Jinki プロボクサー



不器用だからこそ人より多く練習する

～父と共に二人三脚～

守口市に生まれ、守口市で育ち、遊び、学び、練習に励んだプロボクサー前田稔輝さん。これまでどのように歩まれてきたのでしょうか。その軌跡取材しました。



人生のターニングポイント

小さいころは気が弱く、泣き虫だった稔輝さん。

小さいときからテレビで格闘技を見てその世界に入りたかったと想いを振り返ります。

当時は、何か習い事をさせたいと、父と二人で市民体育館に空手の見学に行った際、なんか違う...と思っていたが、2階で練習をしていた日本拳法の道場に稔輝さんの目が止まります。「僕はこれがやりたい」そう父に伝えたいといいます。

「男の子が好きで戦いごっここの延長でしたよ」と父でもありコーチの忠孝さん。稔輝さんと共に日本拳法を始め、指導者の資格も取得。共に成長し、稔輝さんの夢をサポートしてきました。

やると決めたらとことん

日本拳法で6歳、大学卒業まで続けた15年間。父からやると決めたら中途半端にならないようにしっかりと最後までやりきれ、との教えもあり、自分自身もその想いを強く持っていました。

友達と遊んだ記憶はあまりなく、日本拳法しか興味がありませんでした。



中学3年生(平成23年)の全国日本拳法総合選手権大会優勝の報告に市役所を訪れたときのもの(写真右)

また、負けず嫌いな性格も続けてきた理由の一つになっています。けれど、無理やりやっていたのではなく、日本拳法の練習は大好きでした。その都度目標をもって取り組み、試合に勝つことで努力が報われていました。

夢に向かって

日本拳法時代、小・中学校と高校ではルールが違い、寸止めだったものから、殴り合いや関節技ができるようになり戸惑いました。

しかし、結果を出すまでに時間はかかったけれど、自分が掲げた目標に向かって達成してきました。

学生の間は日本拳法をやると決めて

いて、大学卒業後は小さいころに夢んでいた世界へと考え、ボクシングのプロライセンスを取得し、目指すものが変わりました。始めたころは、ベースに日本拳法があり、良いところを残しながらボクシングにシフトすることに苦労しました。

「試合に勝った時は最高にうれしい。今までの練習してきた過程がめぐり、苦しい思いがはじける。やってきよかったと感じる瞬間。自分を奮い立たせるため世界チャンピオンになる夢を成し遂げるために、しんどいことも乗り越え、頑張っている」
稔輝さんの信念は日本拳法を始めたときから、今もずっと変わらず続いています。

普通の子と目つきが違った

身を守る反応は生まれ持ったモノでもあるけど、子どものころから身に付けた日本拳法のベースは大きい。けれど、ボクシングのプロの世界では、そのままでは通用しない。自分自身でも気付いていると思うけれど、日々の積み重ねが大事。強い気持ちを持ち続けること、強靱なプラス思考を自分自身育ててほしい。そんな彼の変化に気付き、特に技術的なこと以外の部分でもサポートをしていきたい。

また、彼の持ち味はスピード。それは頭の回転が速く瞬時に察知して対応できる体のスピードにつながっている。

彼には高いステージに行ってもらいたいのはもちろん、強いだけでなく、子どもたちが見てかっこいい大人になってほしいし、夢を与えられる人間・影響力のある人間になってほしい。「守口市の星」になることを願っている。

グリーンツダボクシングジム
会長 本石昌也さん
Motoishi Masaya

令和元年12月22日に行われた、全日本新人王決定戦VS亀田京之介との一戦。プロボクサーの登竜門でもあるこの試合は、今までのキャリアの中で一番記憶に残っている。父と喜びを感じた瞬間だった。



試合が終わると2週間程度の休暇を取り、大好きな「脂っこいもの・甘いもの」を食べて幸せを感じている。「麺匠 而今(守口市紅屋町)」のラーメンが稔輝さんのおすすめ店。この日も練習後、父(写真右)と共に食事に行くこと仲むつまじく話していた。



①中学校時の稔輝さん。今のポージングに近い?!



②小学校時の稔輝さん。黒帯を取得した父(写真左)と、試合前の様子。共に日本拳法にハマりのめり込んでいった。



③高校時代の試合の様子